



平成30年度 第1回 北海道地方競馬運営委員会

参考資料1

ホッカイドウ競馬をめぐる情勢

平成30年8月2日(木)
北海道農政部競馬事業室

【目次】

I	顧客環境		1
1	人口		1
2	インターネット利用人口		1
3	余暇市場		2
4	ホッカイドウ競馬の入場者数		3
II	馬資源と競走		5
1	生産状況		5
2	在きゅう馬頭数(中央と地方)		6
3	ホッカイドウ競馬在きゅう馬		7
4	2歳馬の入きゅうと転きゅう		8
5	競馬開催成績		9
III	経営構造等		10
1	収入の内訳		10
2	ネット投票別、賭式別の内訳		10
3	各場外発売所における発売状況		11
4	支出と単年度収支の推移		12
5	門別競馬場の主な施設の整備年		13

I 顧客環境

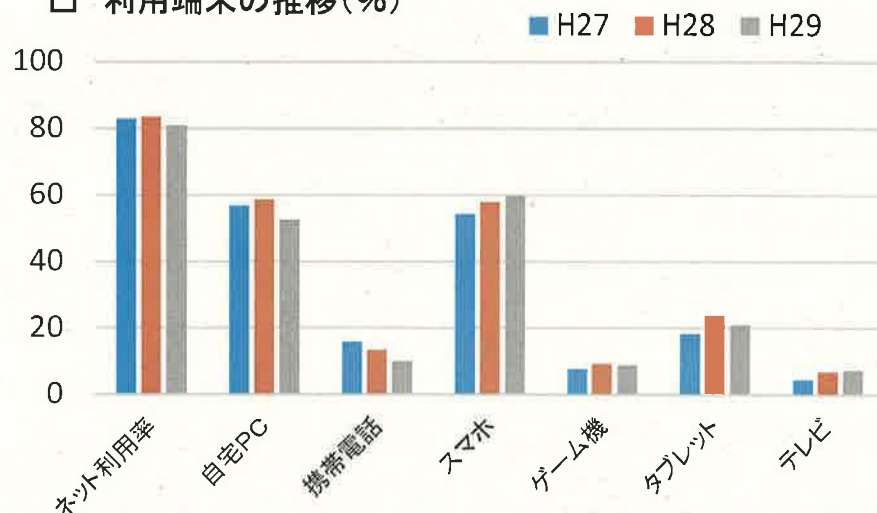
1 人口

- 北海道の人口は、少子高齢化の中で年々減少。
- 20～64歳が減少する一方で、65歳以上が年々増加。

2 インターネット利用人口

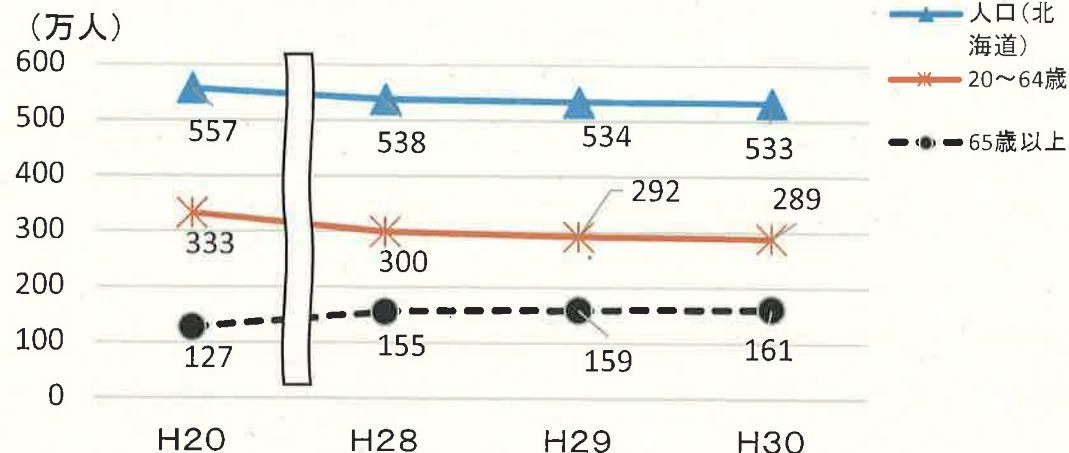
- インターネット利用者は、人口の約8割まで普及。
- スマートフォン利用車が年々増加する一方、パソコンや携帯電話による利用者は減少傾向。

□ 利用端末の推移(%)



人口減少・高齢化の中で、いかにお客さまを確保するか。
急速に拡大するネット社会(特にスマホの普及)にいかに対応していくか。

□ 北海道の人口の推移



資料:住民基本台帳(外国人を除く)

□ インターネット人口の推移

(単位:万人)

区分		H25	H26	H27	H28	対比 28/25
インターネット人口 (普及率 %)		10,044 (82.8)	10,018 (82.8)	10,046 (83.0)	10,084 (83.5)	100%
ネット 事業者 別加入 者数	楽天競馬	17.9	20.5	24.8	29.9	167%
	オッズパーク	31.7	37.2	43.7	52.1	164%
	SPAT4	39.2	42.3	45.8	49.9	127%
	JRAインターネット	300	315	346	372	—

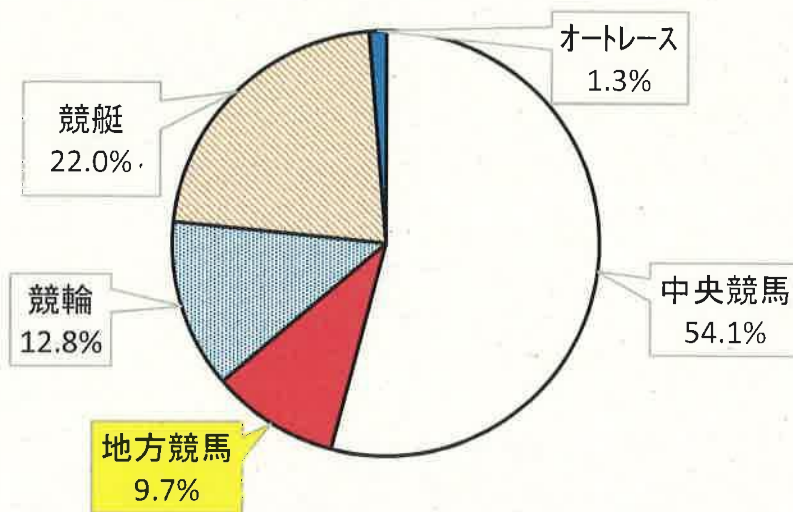
資料:インターネットは総務省「通信利用動向調査」、
ネット事業者は地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

注:・「楽天競馬」とは、楽天(株)の子会社である競馬モール(株)が運営する競馬インターネット投票サイト
・「オッズパーク」とは、ソフトバンク・プレイヤーズの子会社であるオッズ・パーク(株)が運営する公営競技のインターネット投票サイト
・「SPAT4」とは、南関東4競馬場が共同運営する電話・インターネット投票サイト
・「JRAインターネット」とは、JRA(日本中央競馬会)のインターネット投票サイト

3 余暇市場

- 余暇市場は、22年以降減少し、25年、26年と増加してきたが27年に再び減少に転じた。
- 27年の余暇市場の内訳では、23年に比較し、趣味・創作が減少しているが、その他の余暇は増加している。
特に、ゲームが125%と大きく増加している。
- ギャンブル市場のうち、中央競馬、地方競馬、競輪、競艇は近年増加傾向にある一方、オートレースは減少している
- 地方競馬は前年比114%と伸びているが、市場規模は小さい。

□ 競馬、競輪、競艇、オートレースのシェア(H28)



近年、ギャンブル市場が増加傾向にある中で、地方競馬のシェアをいかにして高めるかが課題。

□ 余暇市場

(単位:億円)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	27/23
スポーツ	38,900	39,150	39,180	39,480	40,240	103%
趣味・創作	93,820	84,220	81,980	82,010	81,170	87%
娯楽	424,490	427,572	430,780	502,490	495,670	117%
ゲーム	199,200	200,710	197,600	262,320	249,970	125%
ギャンブル	51,600	52,510	53,260	55,420	57,510	111%
飲食	169,840	170,440	175,960	180,770	184,190	108%
カラオケボックス	3,850	3,912	3,960	3,980	4,000	104%
観光・娯楽	92,200	96,330	100,220	105,250	105,910	115%
合計	649,410	647,272	652,160	729,230	722,990	111%

資料:「レジャー白書」

□ ギャンブル市場

(単位:億円)

区分	H24	H25	H26	H27	H28	28/27
中央競馬	23,950	24,050	24,940	25,830	26,710	103%
地方競馬	3,310	3,540	3,750	4,170	4,770	114%
競輪	6,150	6,090	6,140	6,230	6,330	101%
競艇	9,170	9,430	9,790	10,340	10,880	105%
オートレース	790	700	680	670	660	98%
宝くじ	9,140	9,450	9,010	9,150	-	-
TOTO	840	940	1,110	1,120	-	-
パチンコ	256,720	250,050	245,040	232,290	-	-
合計	310,060	304,250	300,460	289,800	-	-

資料:「レジャー白書」

注:合計欄が、上記余暇市場のギャンブルの値と一致しないが、上表のパチンコは、余暇市場のゲーム欄の細区分に位置づけられているため。

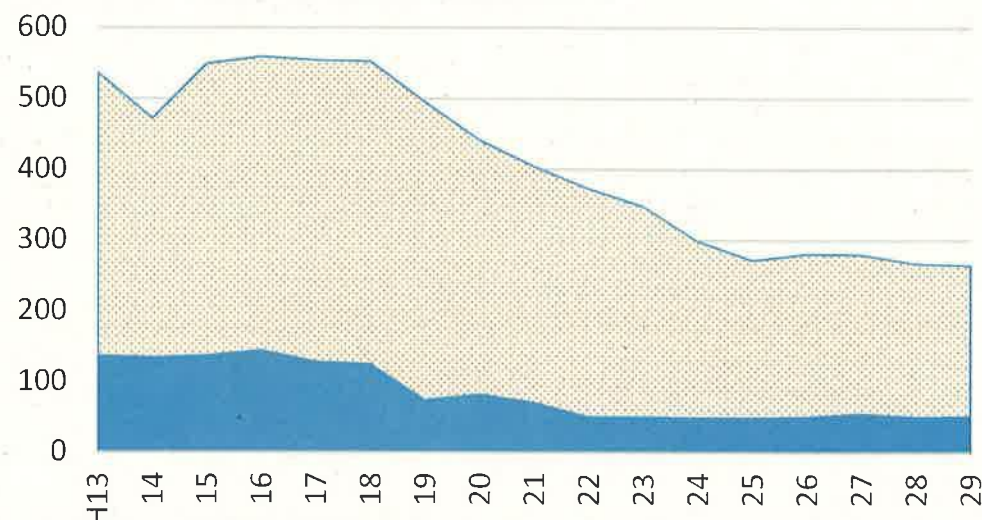
4 ホッカイドウ競馬の入場者数等

(1) 入場者数の推移並びに発売所別入場者数(道営)

- 門別競馬場並びに場外発売所の総入場者数は年々減少。
これに伴い、道内の発売額も年々減少。
- 各場外発売所で、入場者数は大きくばらつき(年間4千人～3万人)。
なお、一部の場外発売所では入場者数が増加。

入場者数が、全体的に減少傾向にある中で、
来客数をいかに確保するか。

□ホッカイドウ競馬・入場者数の推移(万人)



資料: 北海道軽種馬振興公社

■ 本場 ■ 場外

□ 発売所別入場者数(ホッカイドウ競馬)

(単位:人)

区分	門別	旭川	岩見沢	くしろ	登別室蘭	静内	苫小牧	小樽	滝川	浦河	中標津	札幌中央	札幌駅前	千歳	函館港町	江別	石狩	合計
H22	50,418	34,731	14,513	17,699	18,502	10,183	18,195	9,160	7,482	6,108	3,273	24,077	36,030	11,142	12,097	20,264	27,596	373,840
H23	49,879	28,151	13,511	13,454	16,374	9,890	16,355	9,183	7,011	5,732	3,639	19,877	36,019	11,332	10,620	19,133	26,732	348,008
H24	49,120	24,034	13,058	10,708	14,073	8,896	14,709	7,737	5,650	5,399	3,317	17,619	32,373	10,517	9,855	17,197	24,514	299,564
H25	48,567	20,845	8,752	15,684	13,949	13,197	13,988	7,419	4,805	5,687	3,342	19,612	29,542	11,218	10,109	17,619	27,530	271,865
H26	49,541	22,350	9,478	15,672	13,937	13,188	14,095	7,381	4,403	8,467	4,165	18,490	30,951	10,804	12,136	17,106	28,023	280,187
H27	55,284	23,194	12,745	17,178	13,513	14,477	14,838	6,482	5,653	8,637	4,628	27,159	0	11,087	16,974	18,409	29,724	279,982
H28	50,006	21,008	11,034	17,556	13,776	13,310	14,659	6,167	4,326	7,942	4,928	27,786	0	12,451	14,669	17,579	30,342	267,539
H29	51,704	21,489	9,143	17,908	13,475	14,856	13,959	5,715	3,688	7,996	5,347	27,788	0	11,522	14,546	15,437	31,405	265,978
H29/H22	103%	62%	63%	101%	73%	146%	77%	62%	49%	132%	163%	115%	-	103%	120%	76%	114%	71%

資料: 北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、注: H24までAiba琴似、H23までは帯広競馬場で発売していたが、合計欄にはそれぞれの発売額を反映している

(2)主催者別入場者数

- 各場外発売所では、ホッカイドウ競馬のほか、JRAや他の地方競馬の勝馬投票券も発売。
- 道営開催日及び他地方主催者の開催日が減少傾向にある中、JRA開催日の入場者数は増加傾向にあり、平成29年の1日当たりの主催者別の入場者数では、JRA開催日は、道営の約4.4倍、他地方主催者の約6.1倍となっている。

□ 各場外発売所の入場者数 (単位:人、日)

区分	平成28年度			平成29年度		
	全体数	開催 日数	1日 当たり	全体数	開催 日数	1日 当たり
道営	267, 539	80	3, 344	265, 978	80	3, 325
JRA	1, 436, 422	106	13, 551	1, 583, 404	108	14, 661
他地方	393, 279	179	2, 197	424, 086	177	2, 396
合計	2, 097, 240	365	5, 745	2, 273, 468	365	6, 229

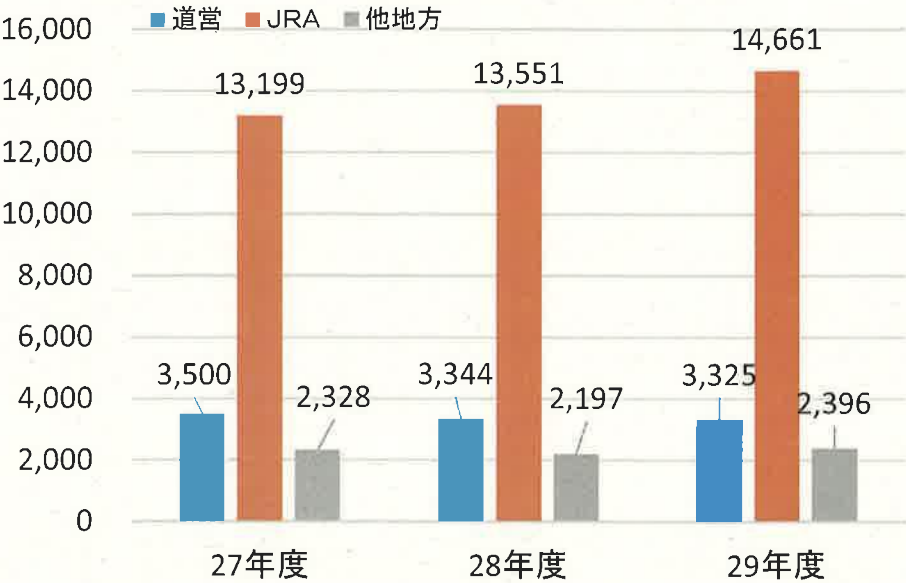
資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、注:「道営」はホッカイドウ競馬開催期間中の火水木が基本、「他地方」はホッカイドウ競馬開催日以外の平日、JRAはJRA開催日(土日祝日)を基本。なお、土日祝日においては、JRAに加え地方競馬も発売、道営開催日においても他の地方競馬も発売しているが、上記は便宜上、JRA開催日は「JRA」、平日の非道営開催日は「他の地方競馬開催日」とした。

□ 発売所別・主催別入場者数(H29)

区分	門別	旭川	岩見沢	くしろ	登別 室蘭	静内	苫小牧	小樽	滝川	浦河	中標 津	札幌 中央	札幌 駅前	千歳	函館 港町	江別	石狩	合計
道営	51,704 (646)	21,489 (269)	9,143 (114)	17,908 (240)	13,475 (170)	14,856 (190)	13,959 (173)	5,715 (82)	3,688 (59)	7,996 (95)	5,347 (64)	27,788 (335)	- (-)	11,522 (138)	14,546 (181)	15,437 (206)	31,405 (367)	265,978 (3,325)
他地方	5,867 (53)	27,007 (159)	13,316 (75)	35,461 (200)	32,468 (183)	26,547 (150)	28,977 (164)	13,697 (77)	12,582 (71)	12,678 (72)	11,807 (67)	50,075 (283)	- (-)	25,007 (141)	42,337 (239)	28,983 (164)	57,277 (324)	424,086 (2,396)
JRA	58,377 (541)	179,538 (1,694)	72,201 (669)	134,720 (1,247)	153,096 (1,418)	92,188 (854)	125,685 (1,164)	57,301 (531)	43,651 (404)	50,766 (470)	30,684 (284)	25,682 (238)	- (-)	67,927 (629)	200,176 (1,853)	74,776 (692)	216,136 (2,001)	1,583,404 (14,661)
合計	115,948 (388)	228,034 (641)	94,660 (259)	188,089 (515)	199,039 (545)	133,591 (366)	168,621 (462)	76,713 (210)	59,921 (164)	71,440 (196)	47,838 (131)	103,545 (284)	- (-)	104,456 (286)	257,059 (704)	119,196 (327)	304,818 (835)	2,273,468 (6,229)

資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

□ 全道場外発売所の1日当たり入場者数の推移



(単位:上段:年間入場者数、下段:1日当たり)

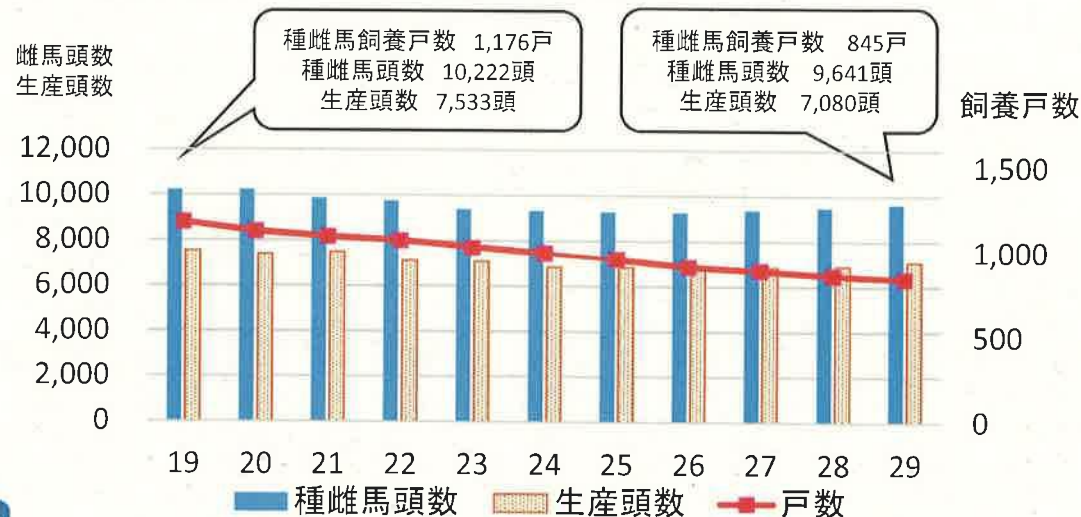
Ⅱ 馬資源と競走

1 生産状況

- 日本は、世界で第5位の軽種馬生産大国。
- 軽種馬の種雌馬飼養戸数は、減少を続け、平成29年は845戸。そのうち日高管内が84%を占める709戸。
- 種雌馬頭数は近年横ばいで、平成29年は9,641頭。そのうち、日高管内が7,555頭(78%)、胆振管内が1,819頭(19%)。
- 平均セリ価格(1歳)は年次で変動するが、近年は微増傾向で、平成29年は1,043万円。

馬資源(戸数、飼養頭数)が減少して行く中で、出走馬の確保が課題。

□ 種雌馬使用戸数、頭数、生産頭数の推移

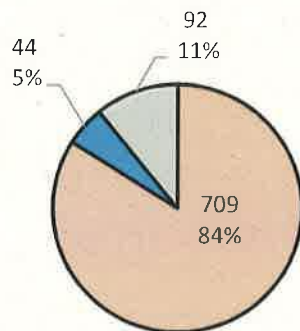


資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

□ 世界の軽種馬生産状況 (単位: 頭)

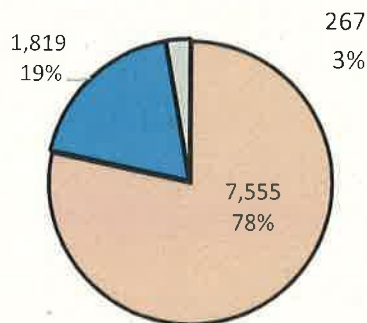
順位	区分	2016	構成比 (%)
1	米国	20,850	22.2
2	豪州	12,653	13.5
3	アイルランド	9,381	10.0
4	アルゼンチン	7,405	7.9
5	日本	6,905	7.3
6	フランス	5,305	5.6
7	英国	4,663	5.0
8	NZ	3,464	3.7
-	世界計	94,018	100.0

□ 全国の種雌馬飼養牧場数内訳 (H29 合計845戸)



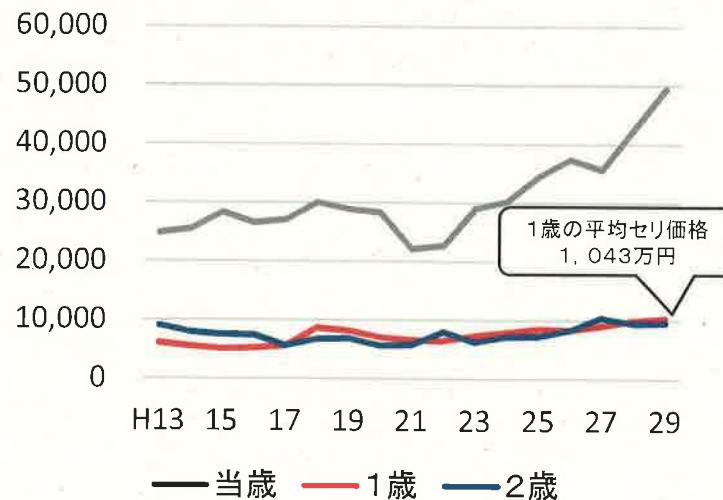
□ 日高 □ 胆振 □ その他

□ 全国の種雌馬頭数内訳 (H29 合計9,641頭)



□ 日高 □ 胆振 □ その他

□ セリ価格の推移 (単位: 千円)



資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

資料: ジャパンスタッドブックインターナショナル

資料: 日本軽種馬協会「軽種馬統計」

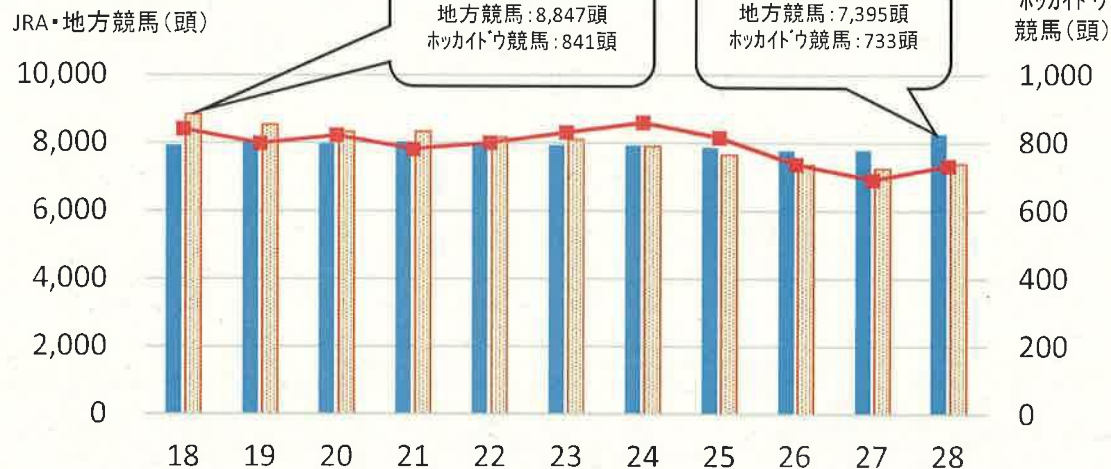
2 在きゅう馬頭数(中央と地方)

- JRAの在きゅう馬頭数は、平成13年以降約8,000頭弱で推移してきたが、28年度は8,200頭台に増加。
- 一方、地方競馬は、平成17年には約9,389頭在きゅうしていたが、以降減少傾向で推移し28年度は7,395頭。
- ホッカイドウ競馬の在きゅう頭数も、25年度以降減少傾向で推移してきたが、28年度は733頭と微増。
- 地方競馬の在きゅう頭数の年齢別のシェアは、2歳の割合が減少し、3歳以上が増加している。
- また、地方競馬の主催者別の総在きゅう頭数では、大井及び兵庫で1,000頭程度が在きゅうする中、北海道及び岩手が700頭程度、船橋が600頭程度、その他の主催者が400～500頭程度の在きゅうとなっている。

□ 地方競馬の年齢別在籍頭数シェア

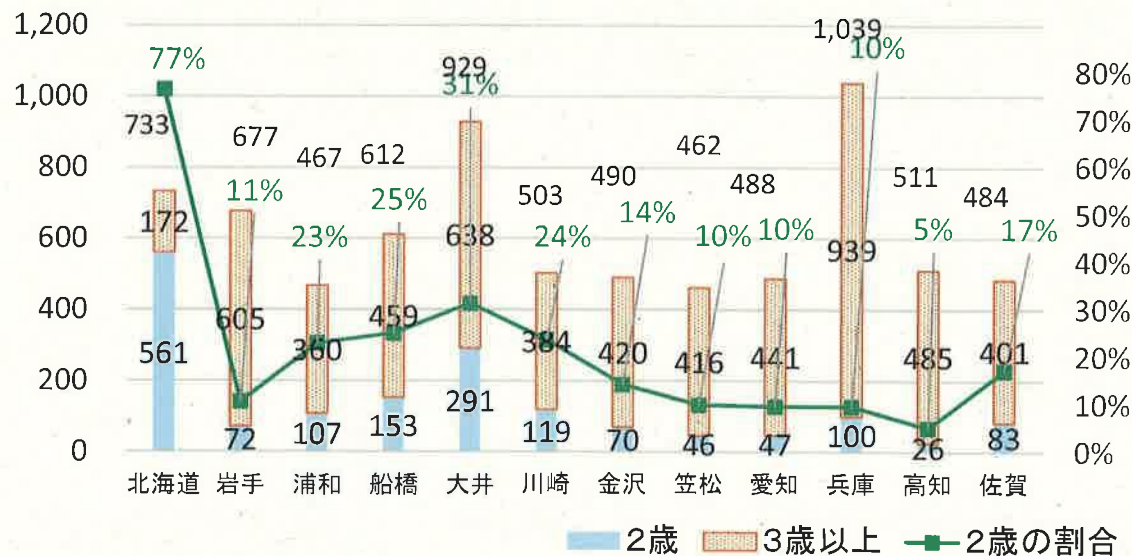


□ 在きゅう馬頭数の推移



資料: 地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」、
「日本中央競馬会事業報告書」

□ 地方競馬各主催者の在きゅう馬頭数の内訳(H28)



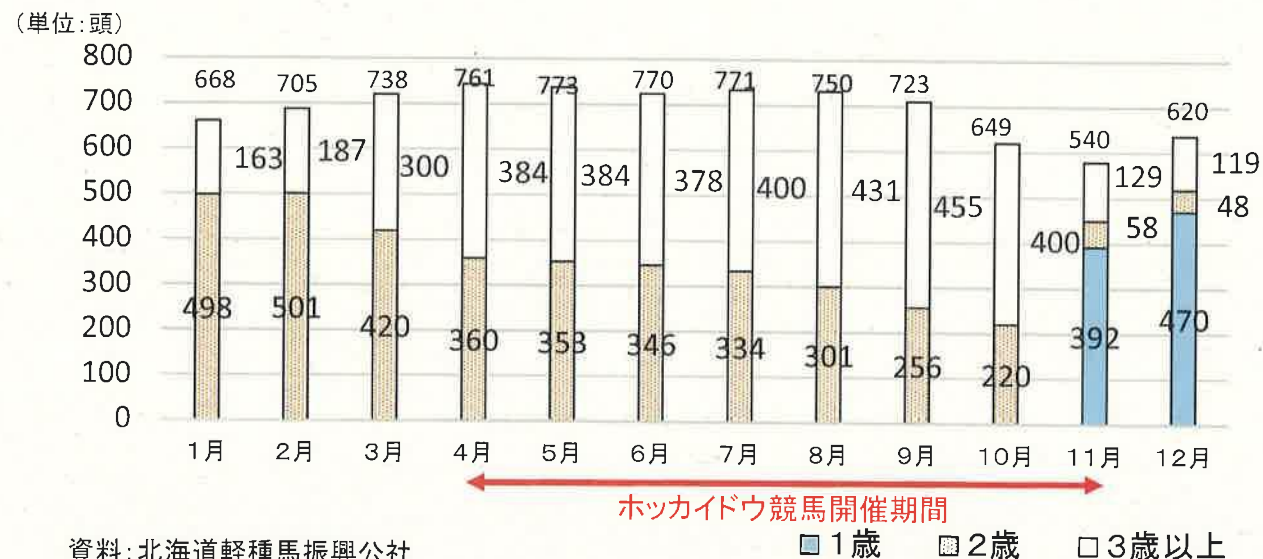
資料: 地方競馬全国協会
「地方競馬に関する資料」(11月1日現在)

3 ホッカイドウ競馬の在きゅう馬

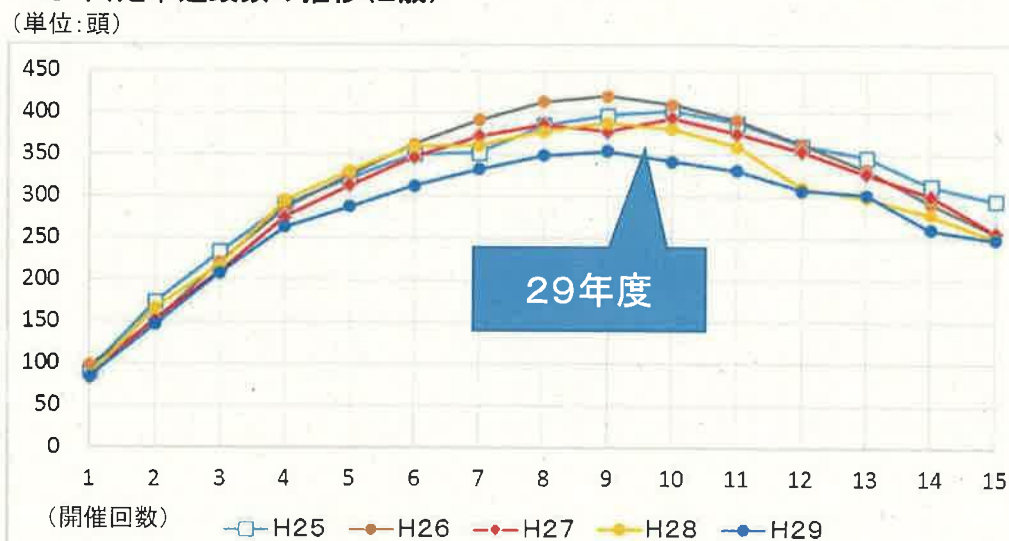
- ホッカイドウ競馬の在きゅう馬の特徴として、11月の競馬終了後に1歳が入きゅうし、翌年の2歳戦に出走。
- 春先は2歳馬の割合が多く、活躍した2歳馬が転きゅうし、後半は3歳以上馬の割合が多くなる傾向。
- 29年度は年間を通して2歳馬の在きゅうが少なく、出走申込頭数が減少。

○ 春先と終盤の馬の確保が課題。

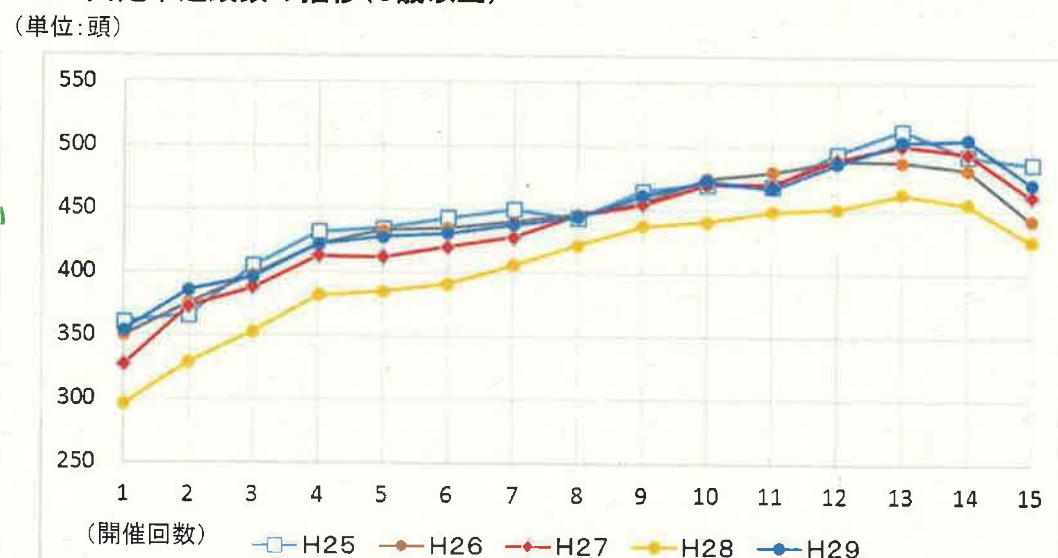
□ 月別ホッカイドウ競馬の在きゅう頭数の内訳(H29)



□ 出走申込頭数の推移(2歳)



□ 出走申込頭数の推移(3歳以上)



4 2歳馬の入きゅうと転きゅう

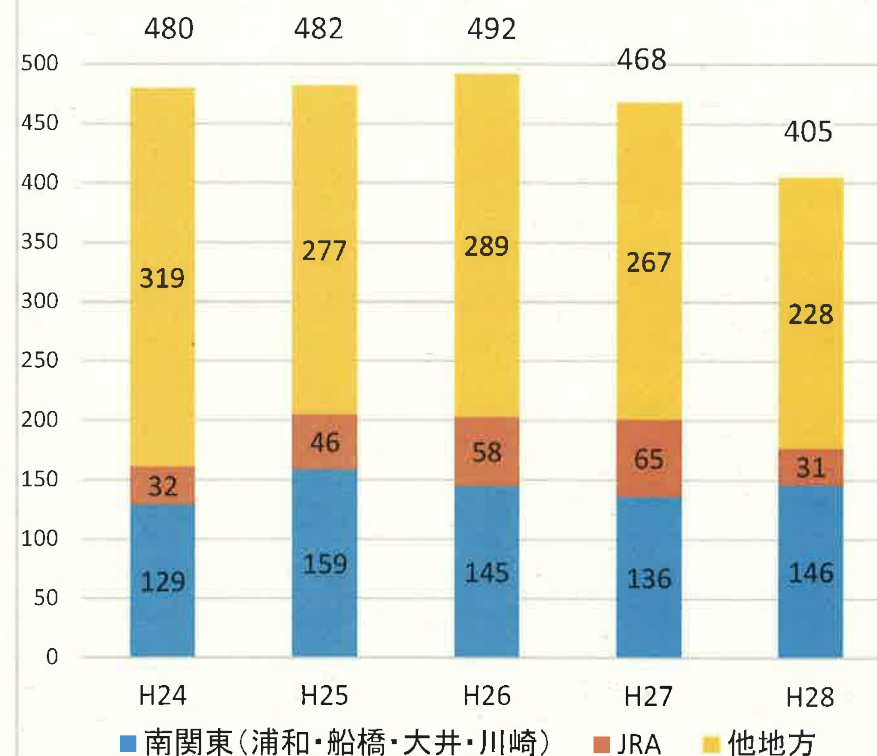
- ホッカイドウ競馬の2歳馬(H28)は、588頭が登録され、そのうち526頭が入きゅう、そのうち75頭が未出走となっている。
- 2歳馬588頭の登録馬のうち、69%にあたる405頭が、JRAや他の地方競馬に転きゅう。内訳は、228頭が南関東以外の地方競馬、31頭がJRA、146頭が南関東競馬(H28)となっている。

□ 2歳馬実入きゅう頭数と出走頭数等

区 分		H24	H25	H26	H27	H28
入きゅう頭数(登録頭数)		644	613	642	619	581
出走頭数		512	486	505	474	444
未出走	能力検査済	88	85	83	78	75
	能力検査未	44	42	54	67	62

資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

□ ホッカイドウ競馬の2歳馬の転きゅう先(頭)



- 調教用坂路の整備により2歳馬を中心に強い馬が輩出され、南関東など他の地方競馬に転きゅうする頭数が多くなってきており、競馬開催に必要な馬の確保が課題。

	H24	H25	H26	H27	H28
登録頭数	644	613	642	619	581
転きゅう頭数	480	482	492	468	405
(割合)	(75%)	(79%)	(77%)	(76%)	(70%)

5 競馬開催成績等

- 開催日数は80日前後、競走回数は900回前後、出走延べ頭数は8千～9千頭となっている。
- 1レース当たりの出走頭数は年々減少し、南関東に比較して低水準。10頭立て以下のレースの割合が多くなっている。

□ 近年の競走成績の推移

年度	開催日数	入場人員(人)	競走回数	1日当たり競走回数	出走延頭数(頭)			年間実出走頭数(頭)			
					年間合計	1日平均	1R当たり	総数(うち交流)	うち2歳	うち3歳	うち4歳以上
22	80	378,192	852	10.7	8,325	104	9.8	1,327(136)	540	395	392
23	80	348,128	914	11.4	8,787	110	9.6	1,330(112)	525	384	421
24	80	299,564	933	11.7	9,433	118	10.1	1,379(104)	521	404	454
25	79	271,865	891	11.3	8,777	110	9.9	1,244(81)	494	321	429
26	80	280,187	910	11.4	8,777	110	9.6	1,234(72)	514	327	393
27	80	279,982	905	11.3	8,689	109	9.6	1,201(74)	482	333	386
28	80	267,539	888	11.1	8,063	101	9.1	1,128(57)	451	323	354
29	80	265,978	900	11.3	8,175	102	9.1	1,130(59)	424	325	381

□ 主催者別1R当たり出走頭数の推移

(単位:レース)

年度	25	26	27	28
門別	10.1	9.9	9.6	9.1
盛岡	9.7	9.7	8.7	8.8
水沢	9.5	9.5	8.6	8.8
浦和	10.9	11.3	10.9	10.9
船橋	11.1	11.6	11.0	11.0
大井	12.8	13.1	12.6	12.4
川崎	12.0	12.0	11.3	11.1
金沢	10.1	10.0	9.5	9.6
笠松	9.3	9.3	8.5	8.6
名古屋	8.7	9.1	8.8	8.8
園田	10.2	10.5	10.2	10.1
高知	8.9	9.6	10.1	10.2
佐賀	8.7	8.5	8.5	8.5
平地計	9.9	10.2	9.9	9.8

資料:北海道軽種馬振興公社

資料:地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

(単位:頭)

□ 出走頭数区分の内訳

頭数立		7頭以下	8～10頭	11～12頭	13頭以上	合計
回数(割合)	H28	216回(24%)	449回(51%)	216(24%)	7(1%)	888競走(100%)
	H29	192回(21%)	504回(56%)	194(22%)	10(1%)	900競走(100%)

資料:地方競馬全国協会「地方競馬に関する資料」

Ⅲ 経営構造等

1 収入の内訳

- 収入全体は、おおむね130～140億円で推移してきたが、28年度以降、200億円を上回っている。
- 道営本体の道内の発売額が減少する一方、インターネット等の在宅投票が大きく増加。

2 ネット投票別、賭式別の内訳

- ネット投票全体の発売額が大きく増加している中、近年は楽天、SPAT4が伸びているとともに、平成25年3月から参画した「JRAインターネット」が大きく増加。
- 賭式別では、3連複並びに3連単が増加傾向。

□ ホッカイドウ競馬の賭式別発売額の推移

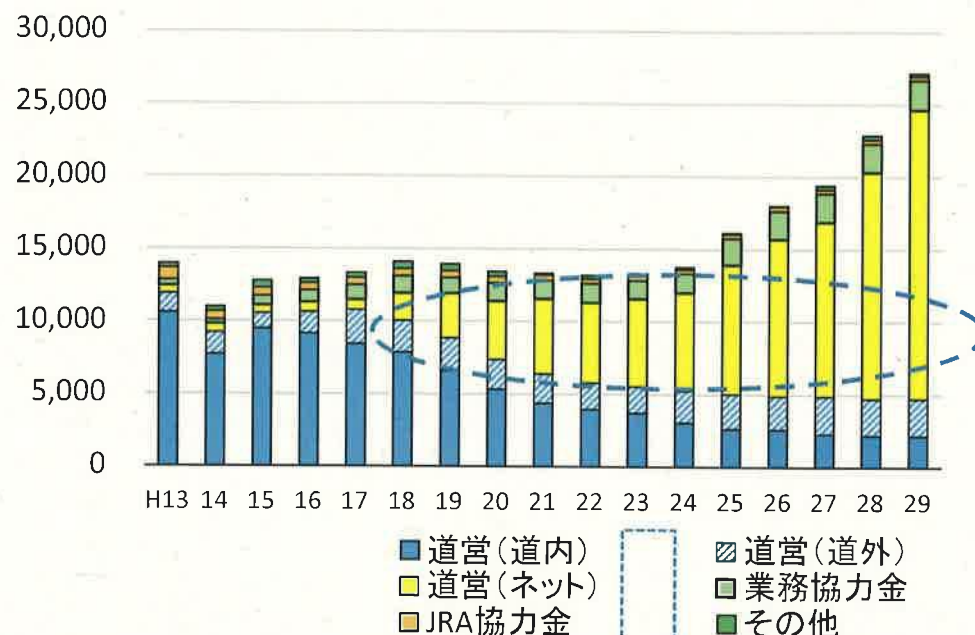
(単位:億円)

区分	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
単勝	3.7	4.2	5.5	8.9	11.4	16.3	21.3
複勝	3.8	4.2	4.6	6.6	7.3	10.5	14.0
枠連	3.7	3.5	3.5	3.3	3.2	2.9	3.1
馬連	11.3	10.8	11.0	13.3	13.8	16.3	19.9
馬単	12.2	12.6	13.6	15.7	16.7	19.9	23.0
ワイド	—	1.9	7.4	9.9	11.9	15.8	21.1
3連複	19.4	20.1	22.0	22.3	23.0	26.9	32.8
3連単	62.5	72.4	73.1	77.0	90.4	90.4	107.1

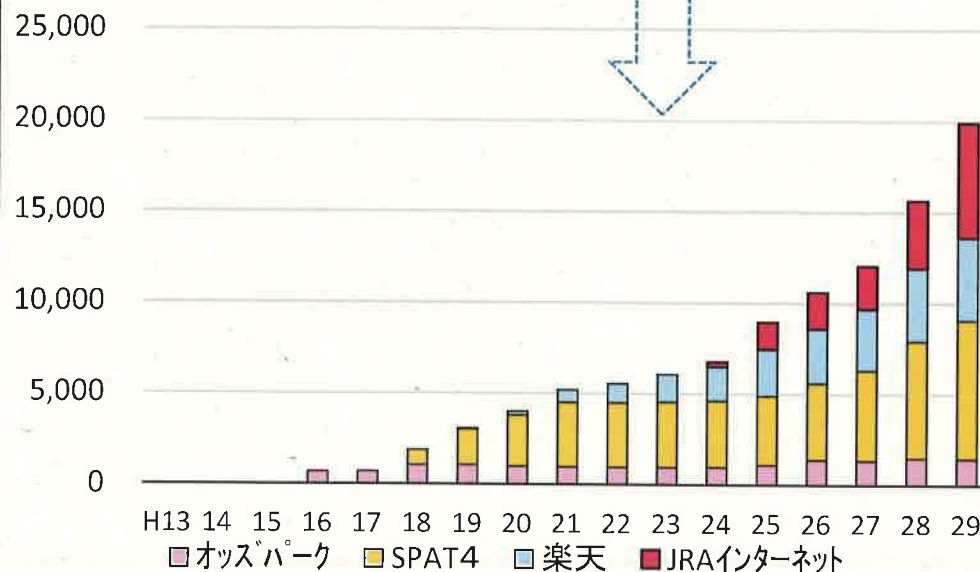
資料:北海道軽種馬振興公社「競馬資料」

- 道内発売が減少し、一方でネット発売が増加していくなど発売環境が変化する中でどう対応するか。

□ ホッカイドウ競馬収入内訳の推移(百万円)



□ ネット投票の内訳の推移(百万円)



3 各場外発売所における発売状況

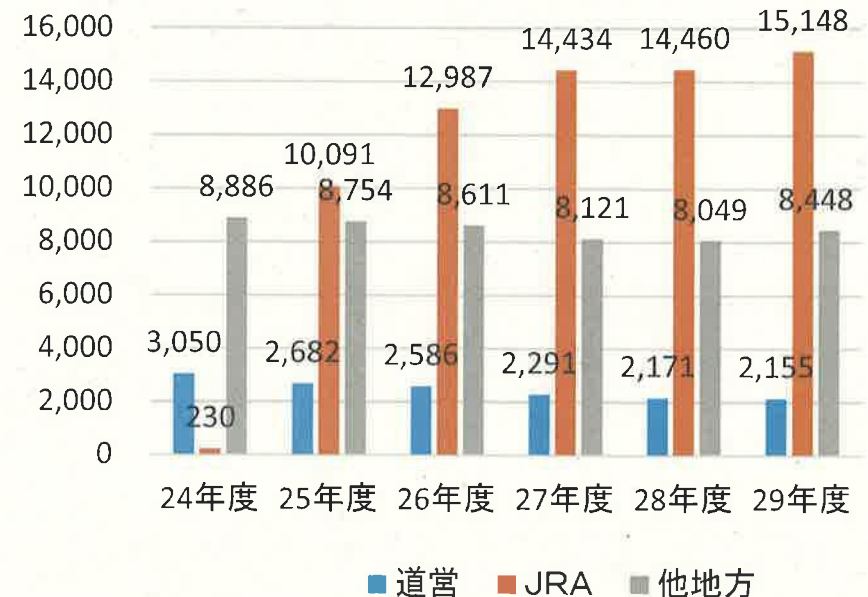
- 道営競馬及び他の地方競馬の馬券発売が減少している一方、JRA馬券の発売が増加。
- JRA及び他の地方競馬の発売は、業務協力金収入として計上しているが、平成25年度からの、JRA発売により、業務協力金は重要な収入源としての位置付けが高まっている。

□ 場外発売所における主催者別発売額 (単位:百万円、日)

区分	平成28年度			平成29年度		
	発売額	発売日数	1日当たり	発売額	発売日数	1日当たり
道営	2,171	80	27	2,155	80	27
JRA	14,460	107	135	15,148	109	135
他地方	8,049	361	22	8,448	365	22

資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」

□ 全道場外発売所の発売額の推移(単位:百万円)



□ 発売所別・主催別発売額の推移

(単位:百万円)

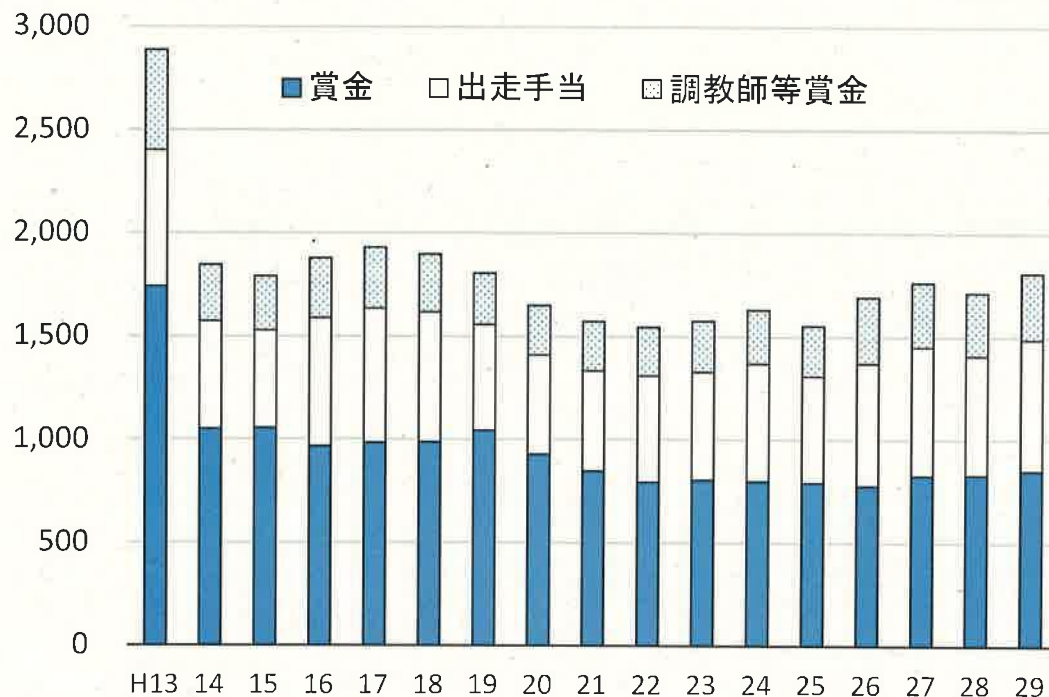
区分		門別	旭川	岩見沢	くしろ	登別室蘭	静内	苫小牧	小樽	滝川	浦河	中標津	札幌中央	札幌駅前	千歳	函館港町	江別	石狩	合計
道営	H27	424	181	96	90	129	92	148	85	81	41	41	346	0	109	147	107	172	2,291
	H28	360	150	86	100	132	83	157	86	76	40	40	325	0	112	152	103	171	2,171
	H29	392	148	69	101	133	82	166	85	65	37	39	317	0	95	146	113	168	2,155
JRA	H27	501	1,360	678	854	1,632	862	1,349	707	545	446	327	227	0	819	1,452	879	1,792	14,434
	H28	475	1,230	696	893	1,657	820	1,291	724	524	424	338	240	0	859	1,466	930	1,891	14,460
	H29	452	1,165	699	1,033	1,643	825	1,316	762	569	420	382	248	0	925	1,612	1,028	2,070	15,148
他地方	H27	155	660	350	523	587	302	648	401	397	130	244	1,422	0	440	646	482	734	8,121
	H28	138	528	285	531	605	272	699	397	385	137	242	1,401	0	499	658	473	800	8,049
	H29	132	489	246	620	632	290	755	421	352	151	232	1,555	0	472	703	568	830	8,448

資料:北海道軽種馬振興公社「競馬成績」、札幌駅前と札幌中央におけるJRA発売はメインレースのみ。

4 支出と単年度収支の推移

- 平成13年度以降、経費の削減や発売の確保等に努めた結果、単年度収支の赤字額は年々減少。平成25年度は22年ぶりの単年度収支黒字を達成し、以降29年度まで黒字を達成。
- 支出のうち賞金や出走手当等の報償費についても、平成21年度までは減少傾向であったが、22年度以降は概ね増加傾向。

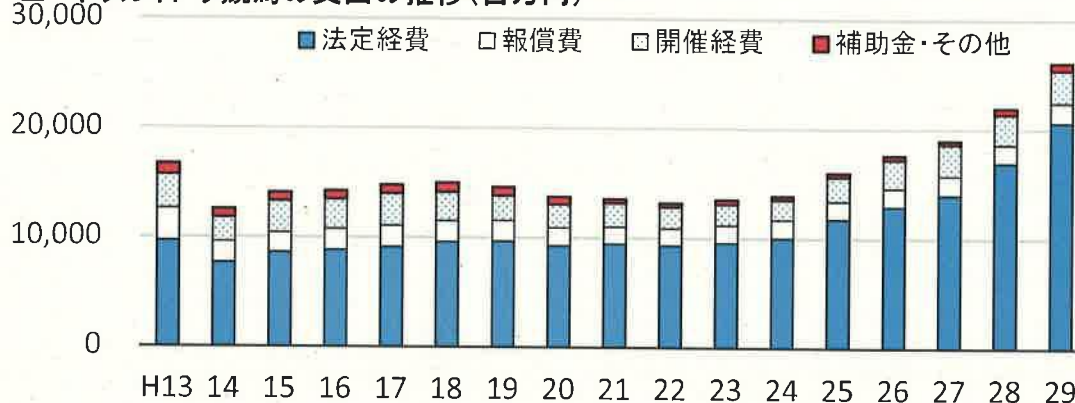
□ 報償費の推移(百万円)



資料:北海道

※ 繰上充用とは、会計年度経過後、その該当年度の歳入が歳出にたいして不足する場合は、翌年度の歳入を繰り上げて、当該年度に充てること

□ ホッカイドウ競馬の支出の推移(百万円)



資料:競馬事業室

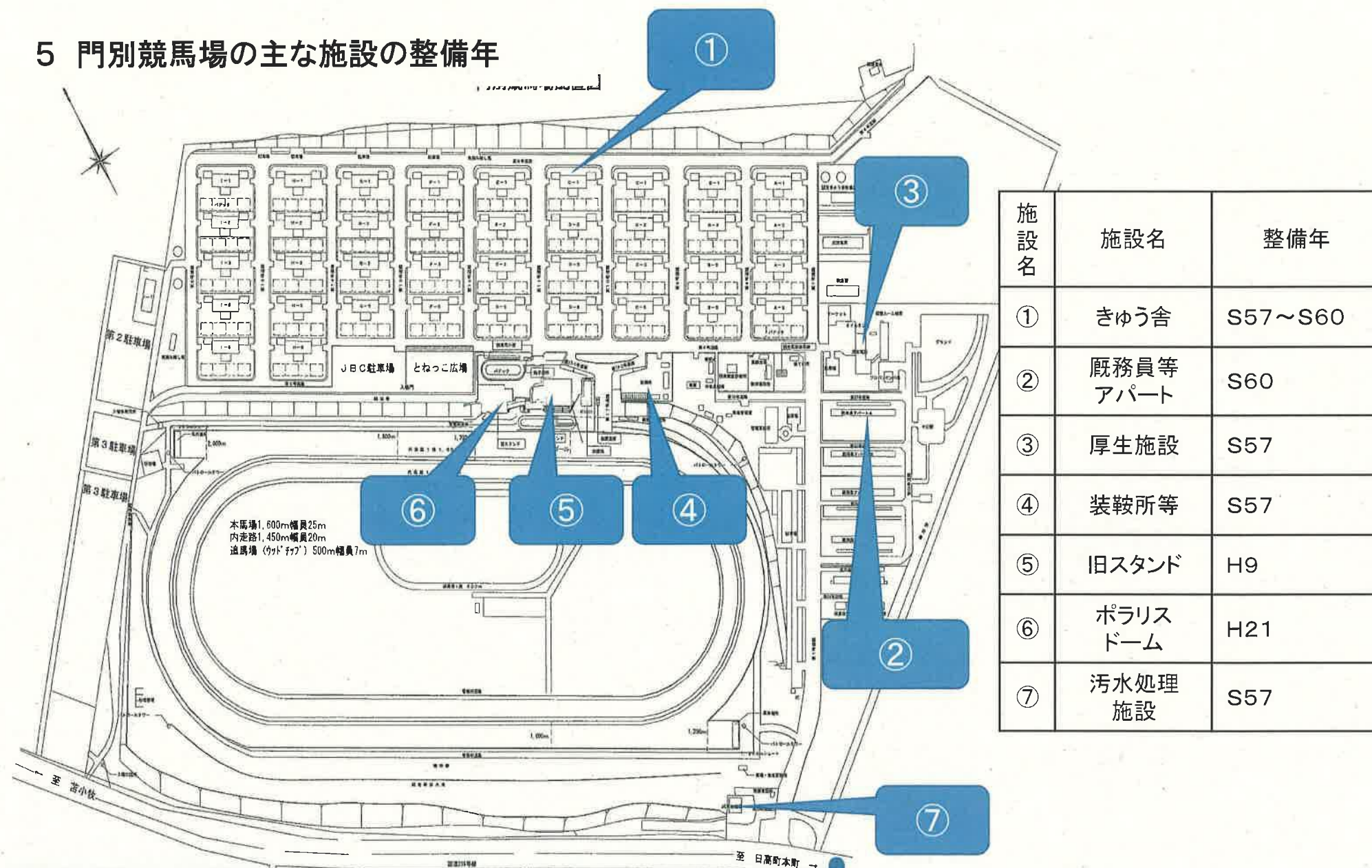
□ ホッカイドウ競馬の単年度収支の推移

(単位:億円)

年度	単年度収支	累年収支	種別
H15	▲13.7	▲187.4	一般会計からの繰り入れ
H16	▲13.6	▲201.0	
H17	▲14.9	▲215.9	
H18	▲10.9	▲226.8	
H19	▲8.3	▲235.1	
H20	▲4.3	▲239.4	
H21	▲3.0	▲242.4	
H22	▲0.5	▲0.5	繰上充用(※)
H23	▲1.9	▲2.4	
H24	▲1.5	▲3.9	
H25	+1.8	▲2.1	
H26	+4.0	+1.9	収益
H27	+2.0	+3.9	
H28	+8.3	+12.2	
H29	+10.0	+22.2	

資料:北海道

5 門別競馬場の主な施設の整備年



○ 上記施設の更新が今後課題として浮上。